



BEST OF EARTH VISION 2012



第1回

生きている地球の記録

in 大阪

平成25年

11月24日 日

午前 10:00 ~ 午後 15:55 (開場午前9:30)

大阪市立こども文化センター ホール

大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線「西長堀駅」3号出口から南へ50m
 大阪市営地下鉄千日前線「西長堀駅」7号出口から北へ40m

主催 (公財)三菱UFJ環境財団、(公社)大阪自然環境保全協会
 アース・ビジョン組織委員会、アース・ビジョン実行委員会
後援 環境省近畿地方環境事務所、
 近畿環境パートナーシップオフィス(きんぎ環境館)

Screening Schedule



10:00~
模索
 一原発がでなかつた町で
 (日本 / 43分)



10:50~
稔りの森を再び
 (日本 / 10分)



11:05~
ドロンコロ
 (日本 / 3分)



11:09~
ふしぎのヤッポ島
 ーブキフキとボー・ブツツコウカン&ヤボプタのちょうせん
 (日本 / 10分)



11:20~ レトロスペクティブ作品
タートル・ワールド
 (オーストラリア / 9分)



11:30~ レトロスペクティブ作品
地球の一日
 (日本 / 15分)



11:46~ レトロスペクティブ作品
モモンガの森
 (日本 / 7分)



12:50~
ヨナターン
 (ドイツ / 74分)



14:15~ レトロスペクティブ作品
国境のない鳥
 (台湾 / 52分)



15:20~ **特別上映作品**
東北の森から明日を考える
 ー木質バイオマスで拡がるエネルギー自立の試み
 (日本 / 35分)

模索

— 原発ができなかった町で

1963年に原発の候補地になった三重県芦浜。反対派と推進派に分かれて対立を深めた地元では、豊かさを問う模索が続いている。貴重な証言を交えて、原発ができなかった町を見つめる。

(日本/2012/監督: 刈田章/43分)



稔りの森を再び

「稔り豊かな森を取り戻すにはどうすれば？」人間の生活のため、あるべきかたちから歪んでしまった森を高校生が考える。

(日本/2011/監督: 平田直也(兵庫県伊川谷北高等学校放送部)/10分)



ドロココロ

ひよんなことから生命を授かった土の塊ドロココロ。街に出て、春夏秋冬を通じ様々な生きものと出会い、触れあっていく。

(日本/2012/監督: 伊藤有希/3分)



ふしぎのヤッコ島

— キキキとポイッポウコウカン&ヤッコ島のちようせん

ヤッコ島はどこかの海にぶかぶか浮かんでいる小さな島。その島に住むキキキと友だちのゆっくりとめぐる暮らしとあわせ。

(日本/2012/監督: ヤーミー/10分)



タートル・ワールド

巨大なウミガメの背中にはサルたちが住む森。より豊かな暮らしを求めたサルたちは、やがて…。寓話のようなクレイ・アニメーションの傑作。第6回若者が選ぶ環境映像賞。

(オーストラリア/1996/監督: ニック・ヒリゴス/9分)

レトロスペクティブ作品

地球の一日

少年の一日の生活と野生生活の何気ないぐさの共通点を通じて、地球上で生きとし生けるものとしての共感を表現した作品。国際環境映像祭の祭典「Ecomove2003」(ベルリン)子どもと若者のための最優秀環境映像賞。

(日本/2002/監督: 占部銀四郎、中村大介/アニメーション: 色あづる/15分)

レトロスペクティブ作品

モモンガの森

北海道の深い森に棲むモモンガの姿を鮮やかにとらえた作品。第2回環境広報映像賞。

(日本/監督: 室井康勝/7分)

レトロスペクティブ作品

ヨナターン

「ぼくは自然淘汰される側なんだ」唇と口蓋に障害を持つ17歳のヨナターン。彼が誘う鮮やかな生きもの世界。

(ドイツ/2011/監督: ザーラ・ラントリン/74分)



国境のない鳥

アジアの湿地に生息するクロツラヘラサギは、台湾から中国、韓国から北朝鮮へと渡る。この絶滅の危機に瀕する鳥を守るため、国境を越えて、人々の協力が生まれていく。

(台湾/2009/監督: ディーン・ジョンソン/52分)

レトロスペクティブ作品

東北の森から明日を考える

— 木質バイオマスで拡がるエネルギー自立の試み

東日本大震災の被害はエネルギー供給問題を浮き彫りにし、自然とコミュニティの果たす役割を改めて問いかけた。震災直後、ライフラインが断たれた中、地元で調達できる木質ペレットが沿岸地域の避難所に支援され、簡単に輸送・備蓄が出来る燃料として重要な役割を果たした。森林・里山・海の持続可能な循環と地域社会 人々のつながりを取り戻す可能性を秘めたバイオマスエネルギーの現在を追う。*地球環境基金 助成事業「東日本大震災 被災地復興から森林資源の活用を再考する」映像による環境教育」による制作作品 (日本/2012/監督: 尾立 愛子、伊賀 俊徳/35分)

特別上映作品

海外作品は、日本語字幕もしくは日本語吹き替えとなります。

※プログラムは変更することがございます。

地球環境問題映画会 第1回「生きている地球の記録 in 大阪」開催

「映像を通して“地球環境問題”を考えてみませんか!」

公益財団法人三菱UFJ環境財団では、平成6年から毎年、名古屋市科学館において地球環境問題映画会「生きている地球の記録」を開催してきましたが、今年から大阪市立こども文化センターでも開催することになりました。これは、毎年開催される地球環境をテーマとした国際映像祭「EARTH VISION地球環境映像祭」の入賞作品を無料で上映するもので、出来るだけ多くの関西地域の方々に、映像を通して地球規模の環境問題について関心と理解を深めていただくことを目的としています。

今年3月に開催された「EARTH VISION第21回地球環境映像祭」では、最終的に、28の国と地域から121作品の応募があり、「子どもアース・ビジョン賞」5作品が入賞作品として選ばれました。今回は、これらの全入賞5作品と、過去の映像祭受賞作品4本及び特別上映作品の1本を上映します。

皆様方のご応募を是非ともお待ちしております。

公益財団法人 三菱UFJ環境財団
公益社団法人 大阪自然環境保全協会

申込方法：Eメール、FAX、はがきのいずれかにより住所・氏名・電話番号を記入の上、下記までお申込み下さい

申込先

公益社団法人 大阪自然環境保全協会「生きている地球の記録」係宛
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-13ハイム天神橋202
FAX番号 06-6881-8103

インターネットでの申込

公益社団法人 大阪自然環境保全協会のホームページ (www.nature.or.jp) 上にある「地球環境問題映画会」をクリックしてお申込下さい

応募締切日

平成25年11月15日(金)必着

参加者応募用紙(FAX用)

フリガナ		住所	〒
氏名			
電話番号		携帯電話	